

# アートを通じて課題や問題をクローズアップしながら地域の魅力を発信する

## 「SEI∞ART Project」実行委員会

### 活動の目的

夏期～「備前団扇」印刷物にて制作協力を求め、市内学校教育機関等、開催告知と参加展示を図る。チラシ・ポスターに〇備マークを全面デザインし、市民や子ども達の参加型アートによる地域性と回遊性を目的にアートイベント【ビゼンナーレ】と名付け告知し開催する。「備前団扇」は、備前市の市形（白地）を自由にデザインすることで、我が町の市形の大きさ・形の面白さを再認識したり、市民の様々な発想の作品が出来上がった。作品参加と展示をすることでの共有感や参加意識を図る目的に展示会場にもアート作品とともに展示する。自身の作品を探しに來たり、見つけて喜ぶ姿があり、風にたなびく賑やかな姿を現した。また多数の「備前ホテル」作品の水中重り部部分にあたる備前焼にも制作協力を求め、アート作品の参加感を味わうとともに、設置する備前市の水景<海・池・川>を巡る回遊性、日頃見慣れた風景がアートの存在で変化することの体感を目的とする。

### 活動の内容及び経過

夏期～日生諸島での大学生（100名）WSを開催。連動し秋期、旧閑谷学校楳の木ライトアップ展示10日間、約2000名来場。大ヶ池に地元子ども達「備前団扇」参加制作協力1000名分、展示（開催期間3日間）し、来場者600名。

「備前遊観・水景 in 大ヶ池」開催確定から2つの関連アートイベント（頭島・旧閑谷学校）の展示会場も加わり、備前の水景を巡る「里海から里山へ」新テーマを考慮し、地域の連動回遊性を持つアートイベント【ビゼンナーレ】として拡大開催。夏からの「備前団扇」を参加体験型ツールとして、特に多くの市民・子ども達に制作協力を得て、展示に多様性を感じ、変化に富むものとなる。<日生諸島、文化史跡・旧閑谷学校敷地内、交通機関に囲まれた巨大・大ヶ池>、開催場所・開催期間は、野外展示であり、自然・天候に左右されたり、秋期は、地元地域行事の兼ね合いや、交通機関利用方法、水量等様々な安全な展示開催のため変更事項、検討課題が多くあがる。様々な課題を行政、地域住民との会話を重ねながら実行委員会として進めていく。

### 活動の成果・効果

短期間の展示、準備にかかわらず、多くの市民参加を得られたこと。「備前団扇」で備前市形・地形を再認識し、郷土を愛する発想を反映した多くの作品が回収でき展示。自然対応の必要性、台風、雨・風対策等安全性を考慮し実施の中、地域の身近な場所（池・土手）や特別な場所<旧閑谷学校、史跡内・泮地、頭島>にアート展示することの<場



所性>、大変さ、重要性も含め、改めて多くの歴史・先人達の智慧や技術を学び、再認識することの大切さ<地域性>、現在も多くのことを教えてくれている。現代も生活の中に、身近な所に地域の様々な特性、要素を現代アートが表出する効果、役割を果たす成果を得る。また、現代に残る産業、耐火物、備前焼をはじめ、文化・地域資源・海洋資源、自然環境からくる備前の魅力創出のため、様々な機関、企業、関係者とも交流でき成果を得る。

### 今後の課題と問題点

展示については、自然の中での野外展示のため、天候・気候に左右され、より安全面や室内施設活用との検討。開催季節、東備地域やJR赤穂線沿線関西方面など、他の地域催事との連動も考慮することで集客、備前への観光・来客につながる可能性。文化交流、催事や歴史からの地域物流の関係性からの考察や、ものづくり・作家交流をとおして、アートインレジデンス等、他地域からの作家感性でのものづくり展示、拡大アートイベント開催のための財政、人材組織の構築が必要である。また、継続性を図り、準備期間2年・3年に一度の開催にむけ、創作環境整備の中・長期の計画性、必要性の課題がある。

- 代表者：山形忠正 ●所在地：東京都世田谷区奥沢
- TEL：03-5706-0276 ●E-MAIL：info@creeco.net
- 設立年：1999年 ●メンバー数：30名